

収穫に備えた管理作業！

早めの雑草抜き取りで品質低下(汚損粒)を回避！

大豆収穫における汚損粒発生は大きな問題で、品質低下の一大要因です。

汚損粒は、「土のかみ込み」や「雑草の汁」、「青立ち株の汁」で発生します。

特に雑草は、いつでも抜き取りが可能です。早めの抜き取りで汚損粒を防ぎましょう。また、種子をつける前の抜き取りは、翌年の雑草を減らすことにもつながります。

侵入させない、広げない、難防除雑草！

右の表はアサガオ類がまん延した場合の労働時間の内訳ですが、雑草処理のため倍の時間がかかっています。

アサガオ類やヒユ科雑草等は難防除雑草と呼ばれ、通常の除草剤では効果が望めません。これらの雑草をまん延させないためには、抜き取りが最も効果的です。

- ・畦畔の除草も確実に(種の持ち出しも忘れない)！
- ・コンバイン・トラクタで種子を広げないように注意！！
- ・未熟堆肥は入れないで！



穂先はとげとげ、茎は縮れた毛が密生



ホソアオゲイトウ(ヒユ類)

ヒロハフウリンハウスキ(ハウスキ類)



マルバルコウ(アサガオ類)



ホシアサガオ(アサガオ類)

アサガオ類がまん延した生産者の労働時間の内訳

作業内容	作業時間 (10a当)
耕起	0.6
土改材散布	0.2
播種	1.0
除草剤散布	0.7
中耕培土	0.7
生育期除草剤散布	0.4
病虫害防除	0.7
草刈り(畦畔)	0.1
手取り除草	5.2
収穫	0.6
合計	10.1

この作業が余分にかかります。

紫斑病・カメムシは必ず2回防除！

2回目の防除がまだの方は、速やかに実施してください。

★2回目の防除時期： 1回目防除の10日後(9月4～5半旬頃)
(参考：1回目防除は9月2半旬頃です。)

・使用薬剤

紫斑病	10a当たり散布量	カメムシ類	10a当たり散布量
マネージDF	3,000倍 100～300L	キラップフロアブル	2,000倍 100～300L
ベルコート水和剤	1,000倍 150～300L	スタークル液剤10	1,000倍 100～300L
アミスター20フロアブル	2,000倍～3,000倍 100～300L	スミチオン乳剤	1,000倍 100～300L

※カメムシは収穫直前まで加害するので、必要に応じ追加防除を実施しましょう